



「祈りのビッグツリー」が登場 … 仙台ロフト、仙台三越など

日本ユニセフ協会とプロのデザイナーや美大生 2000 人が、被災地復興への祈りを込めてデザインしたオーナメントが輝く特別なツリー。ツリーは東京でも飾られていますが、仙台ロフト 2F や仙台三越定禅寺通り館 1F (11/28~), 気仙沼復興屋台村(12/3~)にも 12 月 25 日まで設置されます。オーナメント募金(募金した方に美大生が手作りしたオーナメントがプレゼントされる)も行われます。被災後はじめて迎えるクリスマスの時期に、日本中が被災地に改めて想いを馳せ、被災地の子どもたちに心温まるクリスマスをプレゼントしたいという願いが込められたツリーです。岩手・宮城・福島の子供園に約 100 本のツリーを贈る予定です。ぜひ、「祈りのビッグツリー」を訪れてください。



ユニセフ親善大使「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」の木管五重奏団が、音楽のプレゼント

11 月 21 日(月)、仙台市立榴岡小学校体育館にて、5 名のメンバーによるミニ・コンサートが開催されました。震災当日に 2500 名を超える人たちの避難所となった同校体育館で、全校児童 550 名と津波で浸水被害を受けた岡田小学校の 220 名の児童、保護者らが世界最高峰の音楽のプレゼントを楽しみました。震災の復興プロセスで被災地を応援しているベルリン・フィルの生の演奏に出会えたことは、最高の思い出となり大きな力となりました。



カール・ニールセンの「木管五重奏曲」や「さくら」が演奏されました



終了後、児童の皆さんと
©日本ユニセフ協会/2011/Mariko Miura



コンサートの前に、若林区荒浜小学校とその付近を訪れました

Tegami Project 第4回 @清滝小学校

11 月 10 日、大崎市立清滝小学校で 1 年~6 年までのユニセフ学習会と 6 年生対象に『インドネシア』のお友だちからの手紙(絵)の交換。インドネシアの特徴やあいさつを学びました。スラムシアン(こんにちは)、テリマカシ(ありがとう)をしっかり身につけ、世界を意識するきっかけ作りになりました。



インドネシアのお友だちの描いた絵

宮城県知事を表敬訪問

11 月 17 日、(公財)日本ユニセフ協会の東郷良尚副会長(右下)が、村井知事を表敬訪問。被災した子どもたちを守るために取り組んできた活動状況の報告と、活動できたことのお礼を述べました。県協会からは事務局長の五十嵐、小野英男監事(上右から 2 人目)が同行しました。現在は保育所や幼稚園再開に向け活動中です。



『岐阜県ユニセフ協会』が誕生しました。

11 月 15 日、国内 22 番目の地域組織「岐阜県ユニセフ協会」が誕生し、宮城県ユニセフ協会からお祝いのメッセージを送りました。子どもたちの権利を守るためにともにがんばりましょう。

